



※イラストの指文字は相手から見た形です。

手話も覚えてみよう

vol.38

○ホテルにおける合理的配慮の例

聴覚障がい者への合理的配慮の一つとして、フラッシュランプなどの貸し出しをしているホテルがあります。この機器は、火災報知機、電話着信、ドアのノック音などを感知して、光と振動で知らせるものです。現在はユニバーサル対応を強化しているホテルも増えてきています。ホテルの予約時やチェックイン時に、聴覚障がい用機器（フラッシュランプ、振動式アラームなど）の貸し出しの有無を確認すると安心です。

やってみよう！～身近な言葉の手話～ 普段使う言葉を手話でやってみましょう。

バリアフリー

指先をつけた両手を下げ、手首の回転で両手指先を同時に前に向ける。

手話動画について

今号から手話動画の掲載は終了しました。過去に掲載した手話の動画は、YouTube(市公式チャンネル)で見ることができます。

問い合わせ先 福祉支援課障がい福祉担当 ☎(584)1127 📠(584)1154

写真1

▲日韓の抉入石斧
(左：韓国松菊里遺跡、右：福岡県板付遺跡)

弥生時代は、早期から前期初頭に水稲農業文化が韓半島南部から導入されて始まり。水田を作る技術だけでなく、さまざまな新しい道具、これまではない埋葬方法(支石墓、石棺墓、木棺墓)、環溝集落があらわれ、そして、農民の考え方や新しい社会組織にも影響が及びました。

新しい道具として、収穫具ではイネの穂を摘みとる石庖丁が導入されます。木製農具や水田・用水路用の大量の板

奴国の丘歴史資料館 市報 DE 講義

名誉館長の

武末 純一 名誉館長
(福岡大学名誉教授)

問い合わせ先 文化財課整備活用担当 ☎(501)1144 📠(573)1077

写真2

▲日韓の有柄式石剣
(左：韓国松菊里石棺墓、右：福岡県御館山遺跡)

た。世界的に日常土器の作り手は女性なので、渡来人は男女の集団と分かれます。弥生時代の始まりは各時期に韓半島と関係する遺物があり、何度も渡来があったことを示します。

ただし、最初の遺物は縄文系が圧倒的です。韓半島系の遺物だけが出る遺跡もなく、渡来人と縄文人と一緒に住んで、弥生時代の幕を開けました。佐賀県大友遺跡の支石墓の人骨が、縄文系の弥生人なものもこれを裏付けます。文化とヒトは必ずしも一致しません。

材・杭は、太形蛤刃石斧で木を伐採し、方柱形で柄に固定するための紐かけの抉りを入れた韓半島独特の抉入石斧(写真1)とカンナの刃のような扁平片刃石斧で削って仕上げました。また、縄文時代の曲がりにくい編布から、農作業の複雑な運動に対応できる織布で衣服を作るようになりました。その他磨製石鏃や、柄まで作り出した韓半島南部特有の有柄式磨製石剣(写真2)なども新しい武器です。

これらの文化は花粉のように飛んできたわけではありません。顔の幅が広くていかつく、鼻の付け根あたりの彫りが深い低身長の人とは異なり、高身長・面長で鼻の付け根が低く、のっぺりした顔立ちの韓半島南部で無文土器を使った人が渡来してもたらしたのです。無文土器も作り方が導入されました。世界的に日常土器の作り手は女性なので、渡来人は男女の集団と分かれます。弥生時代の始まりは各時期に韓半島と関係する遺物があり、何度も渡来があったことを示します。